

あいち防災通信

第18号
発行
愛知県・あいち防災
協働社会推進協議会

「備えあれば憂いなし」

ご自身や大切なご家族を守るため、

日頃から災害に備えましょう。



あいち防災キャラクター
防災ナマズン

◆2021年7月1日からの大雨

7月1日には伊豆諸島で線状降水帯が発生し、日降水量が300ミリを超える大雨となりました。7月2日から3日にかけては、東海地方から関東地方南部を中心に断続的に雨が降り、静岡県の複数の地点で72時間降水量の観測史上1位の値を更新するなど記録的な大雨となりました。

7月12日は全国的に広く大雨となり、青森県、三重県、島根県や鳥取県で1時間降水量の観測1位の値を更新するなど記録的な大雨となりました。

<被害状況>

人的被害：死者26人、行方不明者2人、負傷者11人

住家被害：全壊59棟、半壊115棟、一部破損342棟、床上浸水472棟、床下浸水2,638棟

(出典：内閣府「令和3年7月1日からの大雨による被害状況等について」令和3年12月3日13時00分現在)



(出典：首相官邸ホームページ <https://www.kantei.go.jp/jp/headline/ooame202107/index.html>)

◆トンガ大規模噴火による津波の発生

2022年1月15日13時10分頃（日本時間）、トンガの首都ヌクアロファの北約65キロメートルに位置する海底火山フンガトンガ・フンガハアパイで大規模な噴火が発生し、それに伴う地震・津波により、トンガ国内で建物の浸水被害や、国際電話・インターネットの通信障害などが発生しました。

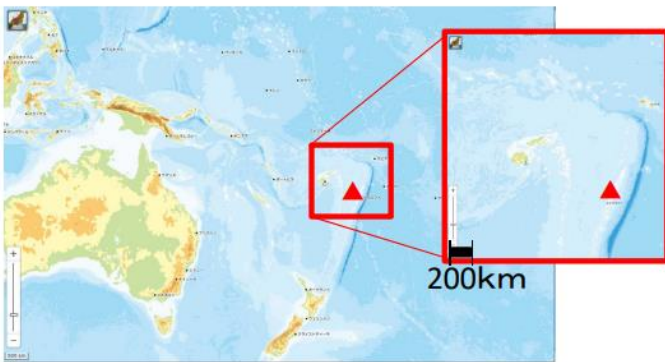
約8,000 kmも離れた日本においても、この噴火による潮位の変化が確認され、地震に伴い発生する通常の津波とは異なりますが、気象庁から、津波警報が奄美半島・トカラ列島に、津波注意報が愛知県外海、伊勢・三河湾をはじめ、北海道から沖縄の広い範囲に発表されました。

この津波は、海底の大規模噴火によるものでしたが、過去にも同じように、日本から遠く離れた場所で発生した地震による津波により、日本で甚大な被害が発生してきました。

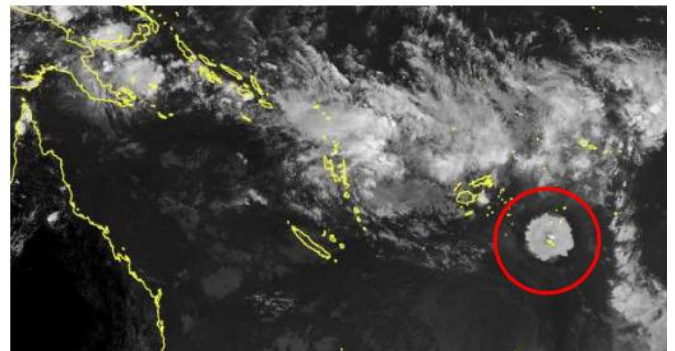
こうした津波は「遠地津波」と呼ばれ、代表的な例として、1960年のチリ地震による津波で、岩手県、宮城県を中心に死者・行方不明者142名の被害が挙げられます。

遠地津波は地震による揺れを感じないため、突然、津波警報、津波注意報が発表されることとなりますので、ご注意ください。

■フンガ トンガ-フンガ ハアパイ火山の位置



■フンガ トンガ-フンガ ハアパイ火山の噴火の衛星画像
(2022年1月15日14時00分時点: 赤外画像)



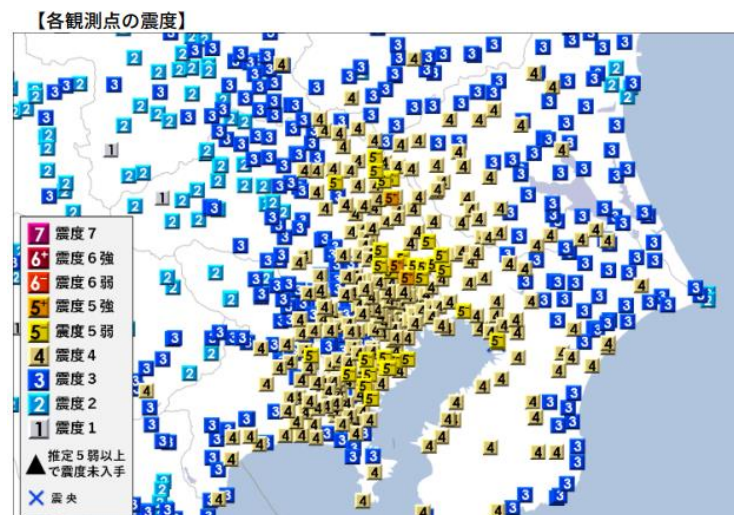
出典：気象庁報道発表資料 令和4年1月16日2時00分 地震火山部

◆千葉県北西部を震源とする地震

2021年10月7日22時41分頃に、千葉県北西部でマグニチュード5.9の地震が発生し、埼玉県川口市、埼玉県宮代町、東京都足立区で最大震度5強を観測した他、東北地方から近畿地方にかけて震度5弱～1を観測しました。

今回の地震の震源付近では、2005年7月23日にマグニチュード6.0の地震が発生し、東京都で最大震度5強を観測しました。この他、1980年9月25日にマグニチュード6.0の地震が発生するなど、マグニチュード6前後の地震が時々発生しており、規模が最大であったのは1956年9月30日のマグニチュード6.3でした。

<震度観測状況>10月7日22時50分発表



(出典：気象庁報道発表資料 令和3年10月8日0時50分 地震火山部)

☆基幹的広域防災拠点を整備します

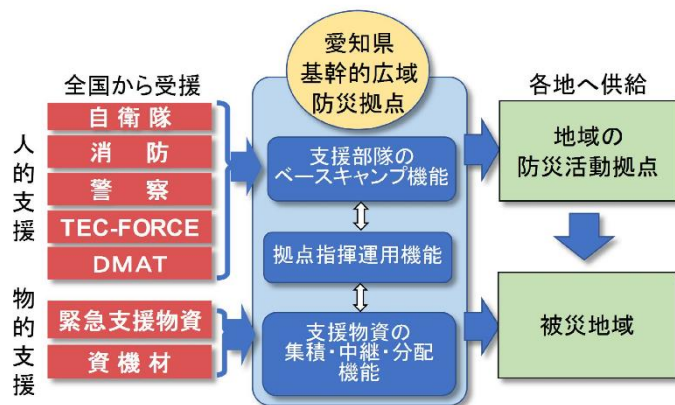
愛知県では、南海トラフ地震等の大規模災害時に、全国から派遣される自衛隊、消防、警察等の支援部隊や、国からの支援物資を受入れ、県内全域に供給する、「愛知県基幹的広域防災拠点」の整備を進めています。

整備計画地は、空港と高速道路の二つに直結する、名古屋空港北西部（豊山町青山地区）で、規模は19.2haとなります。

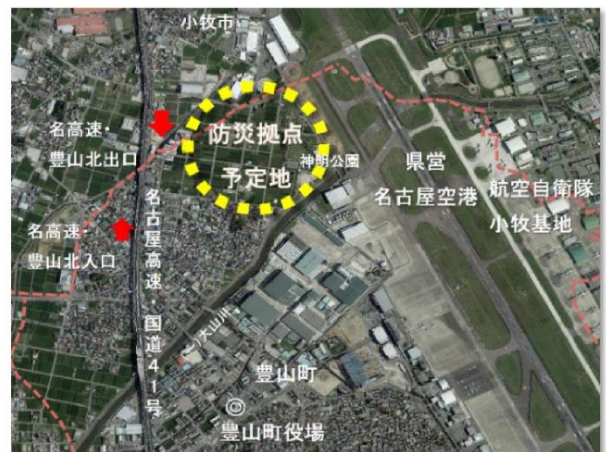
また、平常時は、消防学校及び公園としての活用を計画しています。消防学校では、消防職団員の育成の他、小中学生、自主防災組織、企業等の皆様向けに、訓練施設を活用した防災教育・人材育成の場としても開放していきます。公園では、多くの方にご利用いただけるよう、サッカーや野球などができる広場の他、防災イベントや、最新の防災技術の展示など防災ビジネスの発信の場としても展開していきます。

県土全体の災害対応力のさらなる強化を図り、「愛知県基幹的広域防災拠点」が中部圏の拠点としても貢献できるよう、2025年度の完成に向け、整備を推進していきます。

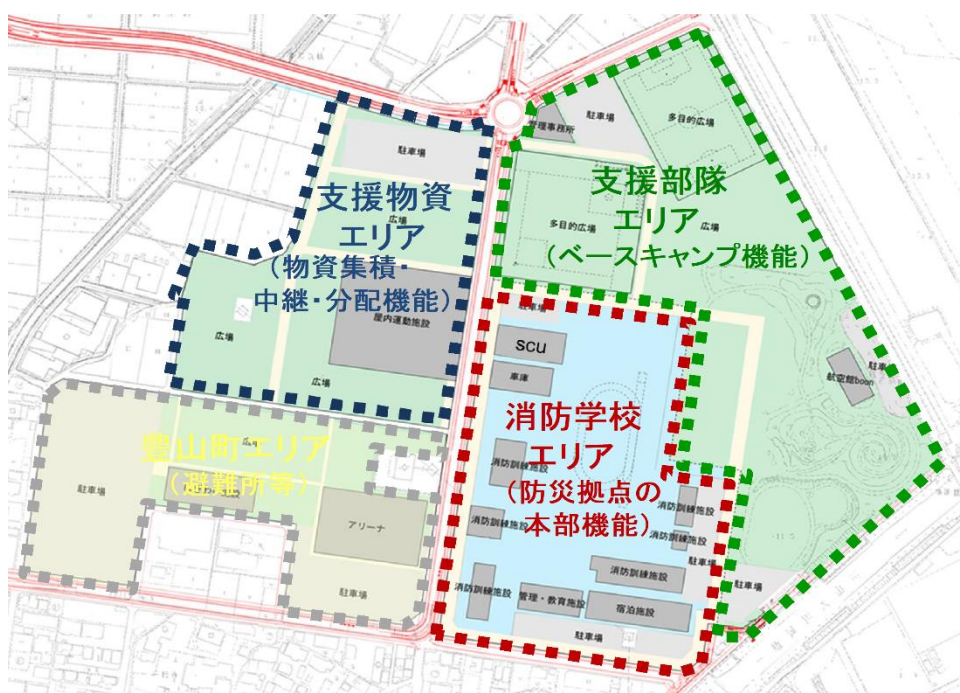
<機能>



<整備計画地>



<災害時のレイアウト>



避難情報が変わりました！

避難勧告は廃止となり、

避難指示(警戒レベル4)で必ず避難！



警戒レベル	新たな避難情報等		これまでの避難情報等
5	 災害発生 又は切迫	きんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保 ※1	災害発生情報 (発生を確認したときに発令)
~~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~~			
4	 災害の おそれ高い	ひなんしじ <b>避難指示</b> ※2	・避難指示(緊急) ・避難勧告
3	 災害の おそれあり	こうれいしゃとうひなん <b>高齢者等避難</b> ※3	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	 気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	 今後気象状況 悪化のおそれ	早期注意情報 (気象庁)	早期注意情報 (気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。

※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル5は、  
すでに安全な避難ができず  
命が危険な状況です。  
**警戒レベル5緊急安全確保の  
発令を待ってはいけません！**

避難勧告は廃止されます。  
これからは、  
**警戒レベル4避難指示で**  
危険な場所から全員避難  
しましょう。

避難に時間のかかる  
高齢者や障害のある人は、  
**警戒レベル3高齢者等避難で**  
危険な場所から避難  
しましょう。

# ☆非常持ち出し品・備蓄品を見直しましょう

災害が発生した場合、命を守る行動を行うことが最優先であり、新型コロナウイルス感染症が収束しない中でも、危険な場所にいる人は避難することが原則です。

避難先ではマスクやアルコール消毒液が不足するおそれがあるため、できるかぎり自ら持参できるようにしてください。

避難先での新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、改めて非常持ち出し品や備蓄品をチェックし、いざという時に備えましょう。

## チェックリスト

※何を必要とするかは、家族状況やお住まいの地域によっても異なります。日ごろからご家族で話し合ひましょう。

### 非常持ち出し品

#### 避難用具

- ヘルメット
- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 乾電池(予備)



#### 生活用品

- ティッシュペーパー
- タオル
- ビニール袋
- モバイルバッテリー
- ライター・マッチ
- 万能ナイフ
- 手袋(作業用)
- アルミブランケット
- 筆記用具(メモ帳、油性マジックなど)
- 携帯トイレ
- 生理用品



#### 衛生用具

- マスク
- アルコール消毒液
- ハンドソープ・固形石けん
- 除菌シート
- 体温計



#### 救急用品

- 救急セット  
(絆創膏、消毒液、包帯など)
- 常備薬・持病薬  
(合わせて処方箋のコピー)



#### 非常食品

- 飲料水
- 食料  
(レトルト食品、缶詰など)
- 携帯食  
(アメ、栄養補助食品など)



#### 衣料品

- レインウェア
- 下着
- 靴下



#### 貴重品

- 現金  
(公衆電話用の10円硬貨を含む)
- 印かん
- 通帳、健康保険証、  
身分証明書の各コピー



#### 乳幼児がいる家族の備え

- 離乳食、粉ミルク・液体ミルク
- 加熱調理器具
- 紙おむつ
- おしりふき など

#### 高齢者がいる家族の備え

- 入れ歯
- 介護食
- 大人用紙おむつ など

#### ペットがいる家族の備え

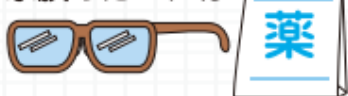
- 動物病院連絡先
- リード
- ケージ
- ペット用食品
- 排泄用品 など

### 備蓄品

- 食料
- 飲料水(1人1日3リットル)
- 携帯トイレ(1人1日5回分程度)
- 生活用品 例えば、トイレトペーパー、ラップ、ガスコンロ、ポリタンク、スリッパ…など

地震などの広域災害の場合、救援物資がすぐ被災地に届くわけではありません。非常持ち出し品、3日以上(可能な限り1週間分程度)の食料、飲料水、携帯トイレ等を日ごろから準備しておきましょう。

### 家族のためには



※メガネ、コンタクトレンズ、補聴器など、家族に応じた非常持ち出し品を考えましょう。  
※持病がある方は、持病の薬、処方箋や診察券のコピーを用意しておきましょう。

### 枕元には



※夜、地震が起きた場合に備えて用意しておきます。飛び散らないように袋に入れておきましょう。

### 車の中や倉庫等には



※パール・ジャッキ・テント・毛布・寝袋・ビニールシートなども車の中や取り出しやすい場所に用意。

## ☆あいち防災フェスタを開催しました

防災意識の向上や防災ボランティア活動を推進するため、「あいち防災フェスタ」をあいち地震防災の日（11月第2日曜日）である2021年11月14日（日）に大府市のあいち健康の森公園で開催しました。

オープニングセレモニーでは、防災活動に積極的に取り組み、地域防災力の向上に貢献した自主防災組織・企業の計7団体に対して、防災貢献団体表彰を行いました。

セレモニー終了後、司会者とあいち防災キャラクター「防災ナマズン」が防災や家具転倒防止に関するクイズを出題し、○または×を選んでクイズに答え、勝ち残りを目指すクイズ大会などのステージイベントを行いました。

また、会場内では、家具固定の相談窓口など防災に関する様々なブース出展、愛知県防災ヘリ「わかしゃち」による水難救出・救助訓練、地震体験車「なまず号」による地震体験、防災関係車両の展示などを実施しました。来場者の入退場管理など新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施した上での開催となりましたが、好天にも恵まれ、お子様からご年輩の方まで約3,600名の方にご来場いただきました。

さらに今年度初の試みとして、特設ホームページであいち防災フェスタのPRを行うのと同時に、防災に関するオンラインコーナーを設置し、掲載期間内（10月1日～11月30日）に22,039回のアクセスをいただきました。



オープニングセレモニー



愛知県防災ヘリ「わかしゃち」



ブース出展会場の様子



○×クイズ大会

## ☆令和3年度愛知県防災貢献団体表彰 受賞団体の紹介

〔愛知県防災貢献団体表彰制度とは〕

地域社会に活動基盤を持つ自主防災組織や企業などの中から、優れた工夫・アイデアを防災活動に取り入れている団体を表彰する制度です。



①東小学校区自主防災会（津島市）



②赤松町自主防災会（安城市）



③共和西自主防災会（大府市）



④米野木区自主防災会（日進市）



⑤花常地区自主防災会（大治町）



⑥美浜緑苑自主防災会（美浜町）



⑦学校法人日本福祉大学（美浜町）

## ☆防災人材交流シンポジウム「つなぎ舎」が開催されました

南海トラフ地震等の大規模災害に立ち向かうためには、地域のあらゆる主体がお互いに顔の見える関係を構築し、地域、世代、組織を超えて一体となって対応することが必要です。東日本大震災から10年という節目に、東北と東海地方の防災活動に取り組むNPO・ボランティア団体、大学生等が一堂に会し、過去の災害経験をつなぎ、南海トラフ地震等の大規模災害に備えるために、防災人材交流シンポジウム「つなぎ舎」が、2021年11月14日（日）にあいち健康の森公園あいち健康プラザにて開催されました。

当日、第一部では、東日本大震災語り部の方から、「後悔」についてお話をいただき、東海地方の私たちに、備えの意識や思い込みを問いただす機会にさせていただきたいと御説明がありました。

第二部では、南海トラフ地震臨時情報が発表された際の社会的混乱について、パネルディスカッションが開催され、そのための備えとして「事前対策が勝負」、誰かが何かをしてくれるの構えでは危険で、しっかりと身構えて備えることが大事であると、参加者で再確認されました。

第三部では、参加者で分科会（10グループ）を開き、災害への備えについて、3つのテーマごとに分かれて話し合いを行い、その成果が発表されました。

当日は220名の方が御参加されました。活動報告の詳細は、以下のURLにも掲載しています。

URL：<http://gensai.nagoya-u.ac.jp/kyoso/seminar&event.html>



第一部、第二部の様子



第三部の様子（会場や Zoom でのグループワーク）

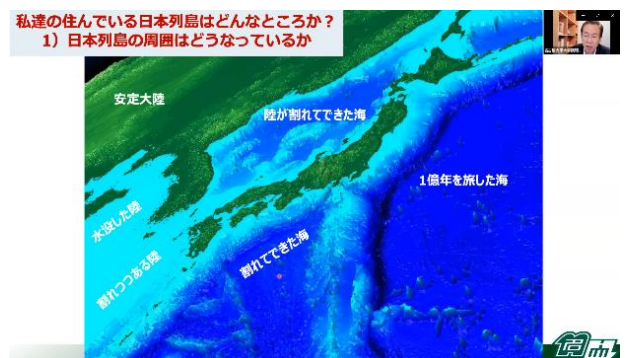
## ☆防災・減災カレッジを開催しました

南海トラフ地震等の大規模災害に備えるため、2012年度から実施して参りました防災人材育成研修「防災・減災カレッジ」は、2021年度で10年目を迎えることになりました。

2021年度もコロナ禍ではありましたが、県民の皆様への「防災人材育成」及び「防災普及啓発」は不可欠であります。全講座をオンライン開催にて全25日間（15講座）を実施し、約1,250名の方に受講いただきました。

2022年度も講義内容の充実を図り、防災人材育成を引き続き推進していく予定です。皆様の積極的な御参加をお待ちしています。2022年度の開催案内は、5月頃に掲載するWebページ（<http://www.gensai.nagoyau.ac.jp/kyoso/college.html>）を御確認ください。

※主催：あいち協働社会推進協議会、あいち・なごや強靱化共創センター





## ☆家具固定啓発動画を作成しました

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、家具固定推進員を派遣できる回数が減少し、県民の皆様へ、家具固定の必要性や方法をお伝えする機会が減っている状況にあります。この状況を補完するため、家具固定の啓発動画を作成し、Web ページ「愛知県防災学習システム」内のビデオ教材として広く公開することとしました。

初めての方にも挑戦できるよう、分かりやすく家具固定の方法を実演している様子を動画としました。自宅で過ごされる機会の多いコロナ禍において、家具固定啓発動画を活用し、家具固定に挑戦してみてください。



## ★愛知県家具固定相談窓口を設置し、家具固定に関する相談を受付中！

愛知県防災安全局防災危機管理課内に家具固定に関する相談窓口を設置しています。家具固定について疑問点などがございましたら、以下の相談窓口へお電話、FAX又はEメールでお問合せください。

### ＜愛知県家具固定相談窓口＞

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目 1 番 2 号

愛知県防災安全局防災部

防災危機管理課啓発グループ（本庁舎2階北側）

電話：052-954-6700（ダイヤルイン）

月～金 午前9時から午後5時15分まで

（土、日、国民の祝日等の休日

及び年末年始（12月29日～1月3日）を除く。）

FAX：052-954-6911

Eメール：bosai@pref.aichi.lg.jp

主な相談内容

- ・自主防災会等を対象とした講習会等への家具固定推進員の派遣相談
- ・家具固定の方法や器具の紹介
- ・家具固定器具取付け支援制度の紹介 など



あいち防災通信に関する問い合わせは、  
愛知県防災安全局防災危機管理課啓発グループまで 電話 052-954-6190